



シルバー人材センター事務所で、毎月一回、水墨画教室が開かれています。これは、その教室で学ばれている方の作品です。

一枚は、干支の丑が、ふく（福）やかでユーモラスに描かれています。

もう一枚は、身も心も凍てつくような雪景色に負けないほど、健気に鮮やかな朱色の実をつける南天。

冬来たりなば春遠からじ

コロナ禍の中、そんな言葉が励ましになります。



水墨画教室に参加してみようと思われる方は、事務所までお問い合わせください。

## 会報 シルバー加東 No.27

発行日 令和3年2月1日  
 公益社団法人加東市シルバー人材センター  
 加東市上三草 234-1  
 TEL.0795 (43) 9110 FAX.0795 (42) 7475

# 自治会広報仕分け

(約10年前から当センターの会員が就業し、現在も4名働いておりますが、会員の働き方についてのご感想や、ご要望があればお聞かせください)

(藤井次長)

それにつきましては、十分に、大変良くやっております。基本9時から5時が勤務時間ですが、午後出勤の方や朝から3時で退勤の方、週の内、月・水・金に勤務の方、いろいろな働き方をされています。

今は、できた商品を箱につめて輸送するところまで運んでいただく

作業をお願いしています。私なんかもう無理ですが、商品が印刷物なので、細かい印刷をチェックしたり、検査したり、そういうことが出来る年齢の方がおいでになれば頼みたいと思っています。

ただ、シルバーさんは高齢の方なので、そういう職種は制限されると思いますので、現在のよう作業以上は要望していません。



工場内



印刷物の検査機



会員の岡田さん

今度は、実際に作業している現場で、会員の岡田さんにお話しをお聞きしました。

(先ず、この協同工芸社での作業内容を説明ください)

印刷できた商品を、箱詰め・梱包をさせていただくのが主な仕事で、毎日、ハンドリフトで出荷・配送できる場所まで移動しています。

これは、箱詰め用の箱を作っているところです。

(この作業で特に気をつけていらっしゃることはありますか?)



会員の大野さん

箱詰め・梱包ができあがったら重量が20kg以上にもなるので、力をいれて持ち上げる時・運ぶときに、腰を痛めないように充分注意しています。ちょっと危険度もありますから気が抜けません。



会員の岸本さん

(先程、藤井次長からもシルバー会員はよくやっておりますとお褒めの言葉をいただきましたが、他のシルバー会員に、この仕事を紹介いただけますか?)

作業もシルバー会員だけの現場ですので、仕事もやり易くて、社員の方も厚意的に接して下さるしね。非常に助かっています。

また、天気に関係なく、施設内は冷暖房完備なので大変動きやすい環境ですので、興味・関心がある会員さんはどうぞ就業してみてください。お待ちしております。

私も、歳をとっても、健康であるあいだは、ここで働き続けたいと思っています。



会員の小西さん



# ここにもシルバー会員 ◆(株)協同工芸社 ◆南山

◆(株)協同工芸社 本日は、ひょうご東条ニュータウンインターパークにある(株)協同工芸社を訪れ、就業されている会員や工場の担当者である次長の藤井さまにお話を伺いました。



お話しいただいた  
藤井次長

(藤井次長にお伺いします。  
(株)協同工芸社とは何を作られている  
会社で、このひょうご東条工場の役割は  
どの様なものですか?)

(藤井次長)

簡単に言えば、裏に糊がついているラベル、シールをつくっていきまして、化粧品から薬品、食品にいたるまで殆どの分野に関わっています。

本社がある大阪市には2つ工場があって、このひょうご東条工場は1番最近にできた工場で、本社工場ともう1つ足してもこの方が広く、新しい機械も設置しているので、こちらに(生産の)拠点を集約している状況でして、弊社にとっても非常に重要な施設になっております。



(株)協同工芸社ひょうご東条工場入口

## ◆南山自治会広報仕分け

市役所から毎月届く「広報かとう」外の配布物。この配達には7名のシルバー会員が担当しています。

今回は、南山地区でこの配達された広報外をさらに仕分けする作業を担当されている、シルバー会員の藤本さん、達可さんの作業現場をお伺いし、お話しをお聞きしました。

(先ず、どのような作業手順で仕分けをしておられますか?)

広報が配達されてきて、包装をすべてはがし、10部ずつにセットします。

10部ずつセットすることで、残る部数が一緒にならないといけなくなり、最後に南山地区の各班別に分ける際にセットの間違いがあるか無いかを確認するためにやっています。

10部だと発見しやすいのが、50部ずつでは確認がちょっと難しいんですね。



正確に仕分け作業

(最後に、加東市内でもこの南山地区だけがシルバー人材センターに発注いただいています、他の会員さんにもお薦めできる仕事ですか?)

お薦めできますので、是非とも他の地区からも発注できるように取り組んで欲しいです。この仕事がたくさん増えた方が良いでしょう。



チームワークが大事

(10部ずつ分けるということですが、広報以外にも、今日は4種類ありますが、多い時はどれくらいになりますか?)

多い時で9種類ぐらいかな。そこにこの南山地区独自の配布物があり、一番多いと12種類のこともありましたね。

で、この10部ずつにセットするのに、大体9時半から始めて午前中いっぱいかかりますね。勿論、種類が多くなるともっと時間がかかり、昼食をとる時間が短くなることや終了する時間が遅くなることもありますね。

(この仕事で、1番気を使う、注意していることは何ですか?)

やっぱり正確さですね。

10部ずつセットして部数に間違いがないようにすることが1番大事で、1枚でも合わなければ、最初からやり直します。

そのためにも、作業の段取りが非常に大切で、試行錯誤を繰り返して今の段取りになりました。また、チームワークも特に大事で、作業のスピードとか積み上げる仕方とか、お互いに気配りがないと作業がうまく進まないんです。



マスクの作り方を説明



折るところから

シルバー会員で長年仕事をされてきた、岸本敏子さんの趣味のいろいろを拝見させていただいた。まずは、このコロナ禍で時間に余裕もあり、又以前はマスクも品薄だったため、友人に教えてもらって作り始められたという。型紙などもしっかり作られ、出来上がった色とりどりのマスクを友人、知人に配られて感謝されたという。

特に私が目に焼きついたのは、西村経済再生担当大臣の使用していたマスク。あまり今でも見ることもないので、珍しく、可愛い柄の布で作られていたので素敵でした。

この他、以前からパステル画を習われていて、可愛い花や景色、動物などを描いておられます。昨年度、一昨年度のシルバー会員作品展にも出展されていまして、ご存知の会員さんもいらっしゃるでしょう。

そしてもうひとつ。以前お店で売られていた傘の生地で作られたエコバッグの素晴らしいこと！しっかりとして中はアルミも貼られて、ポケットもつけてこれなど趣味の域を超えているとさえ思われました。

このバイタリティに強く感銘を受けた取材でした。

### パステル画を始めてみませんか？



月1回、平日に教室があります。  
費用は材料費込みで1,500円くらいやってみようと思われる会員さんは事務所までご連絡ください。



傘の生地で作ったエコバッグ



趣味の域を超えたエコバッグ



## 理事長のあいさつ



理事長 樹梨 林三

加東市シルバー人材センターはコロナ禍の影響により請負額、会員数が昨年より減少しており、公共機関、民間企業からの発注額も減少していますが、会員の皆さんの頑張りで平成30年度売上高まで持ちこたえています。  
しかし、残念なことは事故件数が昨年より増えていることです。  
「事故ゼロ」宣言を達成するには、「行つてきます」から「ただいま」と帰宅するまで安全意识、管理を徹底して欲しいものです。事故、ケガはちよつとした不注意、点検不足から起きています。もう一つ、残念なことは互助活動が出来なかったことです。会員同士の交流、研修を通してより親交を深めたかったですね。  
この新型コロナ禍の中、会員の皆様はいかがお過ごしでしょうか。人生100年、生涯就業を通して自己の技術、知識を生かして活躍し、地域の皆様より「ありがとう」の声を頂ける喜び。このような生きがいのある活動に取り組んで「自主・自立・共働・共助」を基本理念にして就業紹介しているシルバー人材センターで活動をしています。友人・知人に声掛けをしましょう！共に楽しい人生をすごしましょう！

## 「わたしの宝物～趣味を楽しむ会員を訪ねて」

第3・4弾



会員の清水匡子さんは、長年、レース編みクッション作りを趣味として楽しんでいます。制作のお話しを事務所でお伺いしました。  
(1つ作るのにどれくらい時間がかかりますか?)

そうやね…、ずっとじゃなくて、仕事や家事の合間にやっていますから10日間ぐらいかかりますね。昔は寝ないでやりましたが、年を取ってそうもできないので、それくらいかかります。

(昔からという事ですが、いつから始められたんですか?)

レース編みが好きで、中学校にあがった頃から始めてね、それからずっと作るようになりましたから、ずいぶん長くつくっていますよ。  
年上の人に教えてもらったり、本を買って勉強したりして色々覚えていきました。

(この1つ1つの花の柄、何ていうんですかね。この色の配置を考えたりするのも大変ですよね?)

これはモチーフと言うんです。百枚くらい購入して作るんですが、中々いろんな色がなくてね。違う色合いにレース編みでつなぎ合わせるのも一苦労です。

四角の形は簡単にできるんですが、丸い形を作るのが難しいんです。  
ボケ防止も兼ねて作っているんですが、できた作品はお友達に差し上げるんです。皆さん喜ばれてね、1～3月は草引きの仕事が暇になるので、一杯編んで事務所にも持ってきますね。(ありがとうございます。(\*'ω'\*))



“音学”ではなく“音楽”を合言葉に、毎年開催されている「おとなのためのピアノコンクール～エリーゼ音楽祭」をご存知だろうか?

東京で開かれる、このコンクールの全国大会に昨年度はピアノで銀賞、今年度はピアノとクラリネット出場し、クラリネットの演奏が金賞に輝いたシルバー会員がいらっしゃいます。  
その会員、松場萬里子さんにお話を伺いました。

(そもそも、ピアノやクラリネットを始められたキッカケは何ですか?)

病気を患って気持ちが落ち込んでいた時期に家族の不幸も重なり、一人自宅にいてもすごく寂しいし、そんな想いを紛らわそうとして約13年前から始めました。  
ピアノは小さい時から習っていたし、幼稚園の先生として弾いていましたが、今のように専門の先生から本格的なレッスンを受け、1日に何時間も練習しているのは初めての事ですね。

(コンクールではどんな曲を演奏されたのですか?)

ピアノは、ベートーヴェンのピアノソナタ第8番「悲愴」の第1楽章を。クラリネットは、東日本大震災の復興支援ソング「花は咲く」を演奏しました。

(全国大会ということは、地方予選なんかもありますよね?)

6月に神戸で予選があり、そこで最優秀賞になると全国大会への参加資格が頂けます。そうになると、先生と全国に向けての練習も特訓が始まり、中々大変です。

(練習していて、ご苦労はいろいろありますよね?)

ベートーヴェンで言えば、強弱をつけることが大事なのでそこを頑張りましたし、クラリネットは歌うような表現ができるように取り組みました。  
一応、75歳を目標に続けようと思っていて、次回に向けては、シューベルトの即興曲OP90-2(作品番号90番の2)を練習してるところです。この曲はベートーヴェンとは正反対の、滑らかな表現力が必要なので、違ったテクニックが要りますね。

(シルバーの仕事もそうですが、75歳といわずに80歳になっても、この趣味を長く元気に続けてください)



# 令和2年度（公社）兵庫県シルバー人材センター協会会長15年表彰 受章おめでとうございます。これからもお願いします。

## シルバー人材センターと私

西田秀夫さん

（平成16年12月入会 就業は植栽管理等）

月日の経つのは、早いもので加東市シルバー人材センターに入って15年がたちました。

「兵庫県シルバー人材センター協会会長表彰」を頂き、ありがとうございます。私には三つのふる里があります。一つ目は福井県あわら市20年、二つ目は大阪府堺市22年、三つ目は兵庫県加東市ひろのが丘34年。

加東市で人の為、自分の為、地域の為、何か貢献したい。地区内の美化活動、公民館や公園、道路のつつじの剪定や清掃活動しながら健康づくり、地区内住民の親睦を図っています。定年後もOBとして滝野工場で働き、会社内の清掃、草取り草刈り、木やさつきの剪定、春夏秋冬の花植え、清掃窓ふき、機械汚れ、古紙回収、段ボール・新聞・雑誌の仕分け等をしています。

（就業での良い思い出）

私の好きな仕事に出合った事。

花植え作業、社員・お客様にいつもありがとうと言われた事、沢山のひととの出会い、人生の宝です。心の幸福を感じます。

（困った思い出）

夏の暑さ対策と安全面として、蜂・毒ヘビ（マムシ・ヤマカシ・ムカデ）に注意、熱中症に気をつける。こまめに水分補給する事。草刈り作業の注意として、防護メガネ、ヘルメット、安全靴の着用。駐車場周辺では車がないかを確認し、車がある時は小石が飛んでガラス破損しない位置に移動することに一番気を使う。冬は寒さ対策、雨と雪の作業中に転倒した事。

（これから…）

一日一日精一杯に生きる。趣味（加東市のさつき盆栽展、菊花盆栽展への出展、ウォーキング、パークゴルフ、カラオケ、旅行）を継続する。

晩酌のお酒とビールが楽しみです。一日の疲れ、私の心が癒されます。

体が元気の間は、少しでもシルバー人材センターでお世話になりたいと思います。

これからも宜しくお願いします。最後に、新型コロナウイルスの影響で閉じこもりがちな日々、感染に注意しましょう。



## シルバー人材センター 十五年間と今後

藤原芳一さん

（平成17年4月入会 就業は施設管理）

シルバー人材センターにお世話になって早や15年が経過したのかとの思いです。ふり返ってみますと、楽しかったことが多くありました。一番良かったことは、たくさんの方の友達にめぐりあうことが出来たことです。高齢になっても充実した生活が送れる源元になっていきます。八十年を過ぎましたが、今だ元気に働いています。これも一重に会員の皆様方のご支援のおかげと感謝いたしております。

今日あらためて世の中を見てみますと、新型コロナウイルスの蔓延です。いつになったら終息するのか見通しがたちません。有効なワクチンが開発されるのが待ちどおしいです。われわれ高齢者が感染しますと重大な事態にいたりします。三密その他を遵守し、感染予防に努め元気に働こうではありませんか。

世の中に役立っているという自負を持ち、経済的にも少し余裕をもって明るい家庭を作り、楽しい毎日を送れるように頑張ります。



## ええ友達ばかりや

神戸宗司さん

（平成17年5月入会 就業は剪定作業）

入会したキッカケは、シルバーの会員だった知りあいから紹介されたからでね。そうか？もう15年手前になるか。

シルバー人材センターに入ったらな、そら、ええ友達がいっぱい出来てな、何も言うことはありませんわ。楽しく仕事をさせてもらってます。

仕事でしんどいこと？ そんなんあらへん。シルバーの仕事って、第一には、自分の健康のためやと思ってるし、地元や地区でも保健衛生組織の役をやつてましてな、まあ、目立ん縁の下力持ちみたいな活動やけど、永年の功労を認められて、平成23年には、兵庫県保健衛生組織連合会の会長表彰をもらってます。こういう活動を40年間余りも続けていながら、シルバー人材センターの15年くらいなやさいもんやわ。



## 編集後記

田原総一郎著「90歳まで働く」を読んだ。田原氏は今年87歳になられる現役ジャーナリストである。この本の『60歳以降の人生にとって本当に必要なのは預貯金よりも、収入を得られる元氣な働き方だ』と思うのです。『という文章に、私はアツと思ひ、これこそシルバー会員に当てはまる言葉ではないかと。』

氏はさらに『60歳で再雇用されても、数年で退職させられるのが現状です。そこから自分らしく働ける生き方を探し始めても、簡単に見つからないでしょう。』もっと具体的に言えば『60代以降も続けられる「何か」を仕事とリンクさせて生きていくという発想を持たなければ、幸せな生涯を送るのは難しくなるということ。』と続き、『自分が一番元氣なのではないかと見えてきて、それは、私が「現役」であることが最大の理由だという気がします。』

そうです。私達シルバー会員は「現役」で働き続けてこそ、意味があるのではないのでしょうか。元氣で働かせていただいで、ありがたいと思っています。編集スタッフ（由）

編集スタッフ（由）